

クジュウツリスゲ

Carex kujuzana

カヤツリグサ科

カテゴリー

大分県 IB

環境庁

種
子
植
物



大分県の特産種とされる。火山性高原の野焼きされる草原や林縁に生える多年草。草丈10～30cm。茎の基部は赤紫色を帯びる。4月下旬に花穂を出し、2～3個の小穂をつり下げる。基準標本産地の「九重火山群」は人工牧野やスギ植林地に変わって生育地は把握されていない。現在、確認されている生育地は少なく、生育範囲も狭い。野焼きの停止による植生遷移や植林などで生育環境の悪化した所が生じ、絶滅の危険性が高くなっている。

(写真・文：荒金正憲)

県内分布 玖珠丘陵地・山地，(九重火山群)，由布・鶴見火山群

分布域 九州(大分)

備考 <リクチュウツリスゲ - 本州(岩手・宮城・長野県)，朝鮮半島(南部)>
本州(中部)や朝鮮半島に分布するリクチュウツリスゲと同種とする説もある。